

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	行動科学		
英文授業科目名	Behavioral Science		
開講年度	2009年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名	水戸 和幸		
居室	西5-405		

公開E-Mail	授業関連Webページ
水戸和幸	

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題： 対象を見たり聞いたりすることに起因して起こる行動の特質を生体の情報処理メカニズムという視点から追求すると共に、こうした特性を配慮して機器システムや社会環境に応用する方法について習得します。</p> <p>(b) 達成目標： 五感情報処理の特質を理解した上で、人間特性の計測法とデータ処理法の習得、得られた結果の利用法などの応用力を身につけます。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特にありません。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特にありません。

【教科書等】
教科書は使いませんが、必要に応じて参考書を紹介します。

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容：

- ・行動科学と心理学
- ・五官と情報処理（感覚論）
- ・知覚と判断（知覚論）
- ・行動における認知機能（認知論）
- ・人間と行動
- ・人間計測論（心理計測法，生理計測法，行動計測法）
- ・行動科学の応用

(b) 授業の進め方：

基本的にパワーポイントやプリントを利用して講義を進めるが、適宜簡単な演習を行う。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

特になし。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

出席状況、小テストおよび試験試験にて総合的に評価します。

成績評価 = 出席状況および小テスト×20% + 期末テスト×80%

(b) 評価基準：

1. 専門用語の習得度
2. 行動特性の基礎的理解力
3. 応用への展開力
4. 出席状況

を評価します。原則として成績評価（出席状況，小テスト、期末試験）の60%を合格ラインとします。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜応じますが、メールにより事前にアポイントを取って下さい。

【学生へのメッセージ】

人間中心のシステム、社会、環境を考える場合に、人間の認知・判断・行動を客観的に把握することは理工系の学生にとっても有用なことであると思います。たとえば、皆さんは操作ミスが少ない、疲れない、使いやすいパソコンはどのようなものであると思いますか？このような問題を評価するのに必要な概念に授業を展開します。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【その他】
特になし。